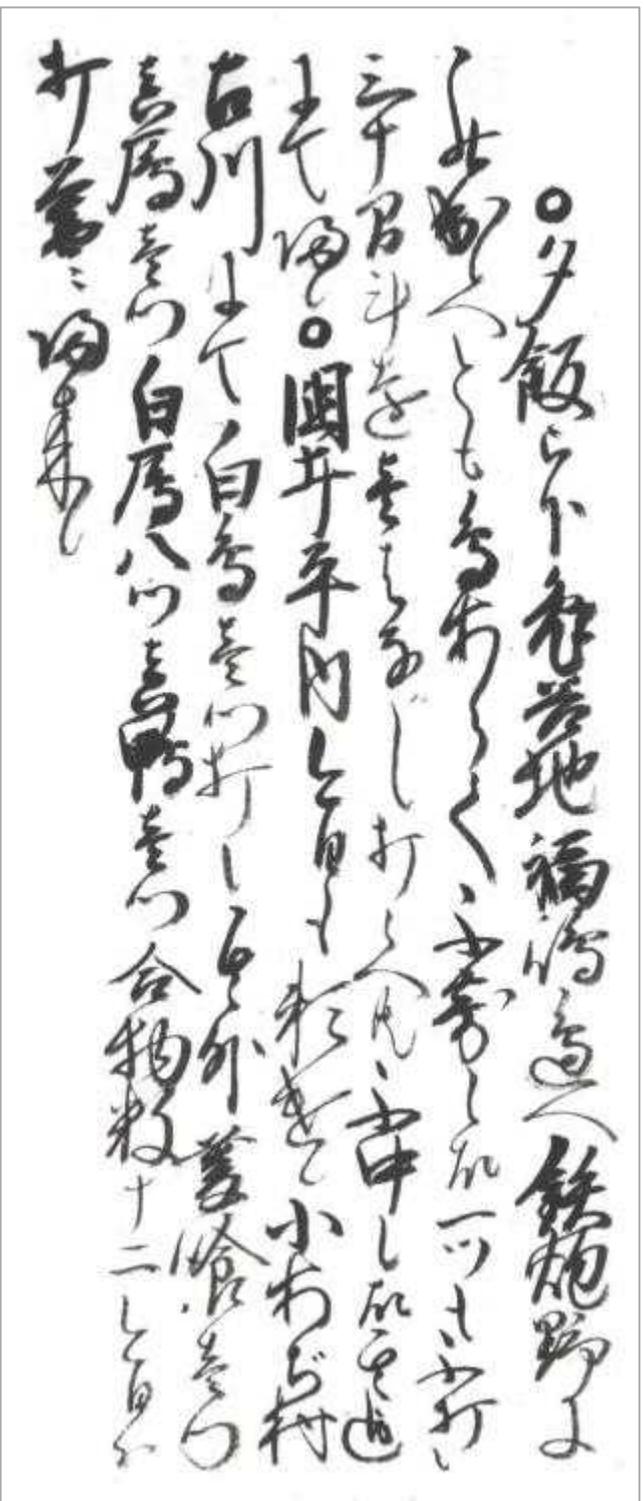


第二回「古文書で読む秋田のくらし」

〜岡本元朝日記を中心に〜

●「岡本元朝日記 10」 (元禄十五年三月二十七日)

【原文】



【解読文】

○夕飯被下兎谷地・福嶋辺へ鉄炮野に
 罷出候へとも鳥あらく不寄候故一ツも不打候、
 三十間計遠壺はなし打候へ共不中候故、其迄
 にて帰候、○国井平内今日も頼遣候、小あぢ村
 古川にて白鳥壺ツ打候、其外菱喰壺ツ・
 真雁壺ツ・白雁八ツ・真鴨壺ツ、合物数十二今日ハ
 打、暮ニ帰来候、

●「岡本元朝日記9」（元禄十五年正月十六・二十七日）

【原文】



【解説文】

○白鳥輪繩ノ事

時二もかもひなく早々検使を遣符を切せ

【原文】



【解説文】

白鳥輪繩申付候事、野石・宮沢・

ふくめ沢時分能候由二而輪繩さし候由

●「岡本元朝日記34」（宝永二年十一月七日）

【原文】



【解説文】

○今日夏中御会所御新宅之

御祝儀二被下置候白鳥一羽、又輪繩之
白鳥壹羽、合二ツ拝領いたし候也、

【原文】

一日、きよよし。しつ休。内膳及より
 給。おとこ二つ。給。官金。所。茶。部。方。公用。を
 振舞。之外。自分。慰。料理。延。行。り。し。り。
 十。兵。衛。所。暮。方。持。参。り。し。り。酒。四。五。升。
 白。鳥。塩。引。も。持。参。り。し。り。酒。四。五。升。
 馳。走。御。座。候。也。掃。部。洞。庵。道。轍。用。拙。
 与。五。左。衛。門。な。と。参。候。也。夜。九。ツ。時。罷。帰。候。なり。
 今日。八。天。氣。よ。く。江。戸。之。様。二。御。座。候。
 夜。氷。候。也。

【解説文】

一三日、天気よし、○今日休也、○内膳殿より

鶏しめ候を二ツ給候間、金砂祭前二而公用之

振舞之外自分慰料理ハ延引いたし候間、

十兵衛所へ暮方持参いたし候、酒四五升・

白鳥塩引も持参候也、十兵衛所二而其外

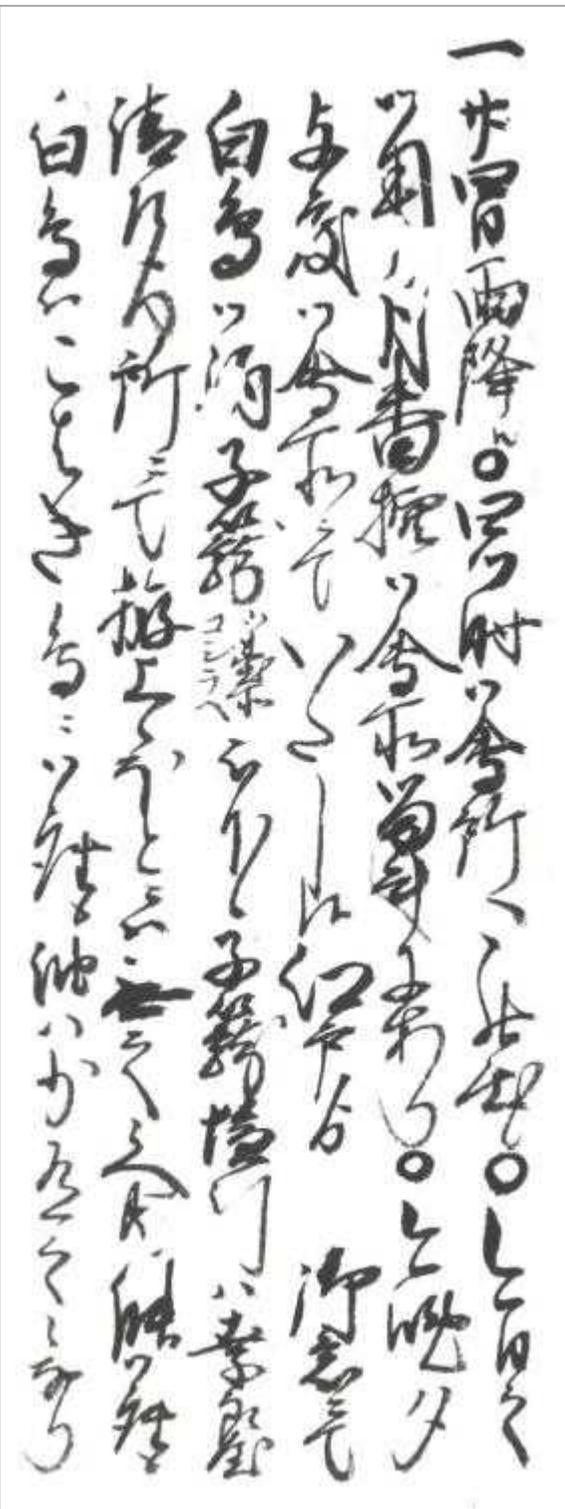
馳走御座候也、掃部・洞庵・道轍・用拙・

与五左衛門など参候也、夜九ツ時罷帰候なり、

今日八天氣よく江戸之様二御座候、

夜氷候也、

【原文】



一廿四日雨降ル。○四ツ時御会所へ罷出候。○今日之
御用月番控・御会所留書にあり、○今晚夕
支度御会所にていたし候、江戸方 御意にて
白鳥・御酒・子籠〔御台所コシラ〕被下候、子籠塩引ハ奈良屋
清左衛門所にて拵上候ほとニハ無之候へ共、能御座候、
白鳥ハこはき鳥ニ御座候、油ハ少有之候なり、

【解説文】

一廿四日、雨降ル、○四ツ時御会所へ罷出候、○今日之
御用月番控・御会所留書にあり、○今晚夕
支度御会所にていたし候、江戸方 御意にて
白鳥・御酒・子籠〔御台所コシラ〕被下候、子籠塩引ハ奈良屋
清左衛門所にて拵上候ほとニハ無之候へ共、能御座候、
白鳥ハこはき鳥ニ御座候、油ハ少有之候なり、

【原文】

御成九ツ時より料理ハツ前ニ出ル、二汁
 五さい也、御本汁鶴、御本向かき・鯛、二の御汁
 たい・しらうをしほに、向にやわらきくしこ・山いも・すりうを
 かす・なます「ちよくにて」・三の分ニへぎにて、鮎のさしみ・
 焼物小鯛・鱒一ツ皿、何も糟つけ、御くわし
 いろく、後段うとん・ちよめん、御料理御汁
 あつめ汁・かきあへ・にしめ・いり鳥いろく・
 白鳥いり焼・平め色付焼、御酒もりあり、
 何もうたい小うた老中・御そば衆へ御望、
 我等・外記ニハ上るり御望故少語也、御気嫌ニ入
 御帰ハ七ツ半過

【解説文】

今日宇留野源兵衛殿へ

御成、九ツ時より料理ハツ前ニ出ル、二汁
 五さい也、御本汁鶴、御本向かき・鯛、二の御汁
 たい・しらうをしほに、向にやわらきくしこ・山いも・すりうを
 かす・なます「ちよくにて」・三の分ニへぎにて、鮎のさしみ・
 焼物小鯛・鱒一ツ皿、何も糟つけ、御くわし
 いろく、後段うとん・ちよめん、御料理御汁
 あつめ汁・かきあへ・にしめ・いり鳥いろく・
 白鳥いり焼・平め色付焼、御酒もりあり、
 何もうたい小うた老中・御そば衆へ御望、
 我等・外記ニハ上るり御望故少語也、御気嫌ニ入
 御帰ハ七ツ半過